

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年11月13日 (2014.11.13)

【公開番号】特開2012-236967(P2012-236967A)

【公開日】平成24年12月6日 (2012.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-051

【出願番号】特願2011-250856(P2011-250856)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2/38 (2006.01)

C 0 8 F 2/18 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 2/38

C 0 8 F 2/18

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月29日 (2014.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

油性オレフィンモノマーとラジカル重合開始剤とヨウ素分子とを含有する第一の混合液体を、水とヨウ化物イオンとを含有する第二の混合液体中に懸濁することにより、前記第一の混合液体からなる油滴を含有する懸濁液を得る懸濁工程と、

前記油滴中において前記ラジカル重合開始剤の開裂により生成するラジカルと前記ヨウ素分子とを反応させてヨウ素化合物を合成する合成工程と、

前記油滴中の前記油性オレフィンモノマーを重合する重合工程とを有することを特徴とする高分子粒子の製造方法。

【請求項 2】

前記ラジカル重合開始剤が油溶性ラジカル重合開始剤であることを特徴とする請求項 1 に記載の高分子粒子の製造方法。

【請求項 3】

前記第二の混合液体に含有されるヨウ化物イオンの含有量は、 $5 \times 10^{-2} \text{ mol/l}$ 以上 5 mol/l 以下であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の高分子粒子の製造方法。

【請求項 4】

前記高分子粒子の数平均粒子径は 20 nm 以上 $100 \mu\text{m}$ 以下であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の高分子粒子の製造方法。